

研究課題番号	1G-2102
研究課題名	ペルフルオロアルキル化合物「群」のマルチメディア迅速計測技術と環境修復材料の開発
研究実施期間	令和3年度～令和5年度
研究機関名	産業技術総合研究所
研究代表者名	山下 信義

1. 委員の指摘及び提言概要

PFASの検出や回収方法に関して想定以上に顕著な成果をあげている。サブテーマ間の連携も適切である。実際の環境試料の分析で残留性のある種類に絞り込んだことを評価する。人工知能網羅分析による検出対象の絞り込み技術は、学術的にも実用的にも極めて有用である。もみ殻活性炭の吸着剤用途の拡大や、多様な吸着剤の開発への展開も期待される。ISO国際標準分析法として認められ、捕集装置の特許を取得することを期待する。地方環境研究所ネットワークでの全国調査活動で実態を把握し、安全な濃度基準かどうか、継続的なデータ公表を待ちたい。また、環境モニタリングや分解処理展開、画期的なコスト削減、さらに基準化やPRTRなどによる環境政策への貢献も期待したい。

2. 採点結果

評価ランク：S